

授業科目名	言語教育論
科目番号	CB25141
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋AB 木5,6
担当教員	長田 友紀, 名畑目 真吾
授業概要	言語教育に関する基本的な知識を学ぶとともに、現在の言語教育が抱える問題点について考える。
備考	西暦偶数年度開講。 その他の実施形態 オンライン（オンデマンド）と対面の併用
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	汎用コンピテンスの「コミュニケーション能力」および、専門コンピテンスの「教育学の基礎的体系的知識」「教育学における総合的思考力」に関係する。
授業の到達目標（学修成果）	言語教育に関する基本的な知識を得たうえで、現在の言語教育が抱える問題点について考えることができる。
授業計画	第1回 ガイダンス・言語教育とはなにか 第2回 これまでの言語教育を振り返る 第3回 母語習得 第4回 言語教育の基本文献を読む1 第5回 学校教育と言葉教育 第6回 言語教育の基本文献を読む2 第7回 学校教育における日本語教育 第8回 言語教育の基本文献を読む3 第9回 国語教育の未来 第10回 第1回～第10回のまとめと中間レポートの作成 第11回 言語教育とデータサイエンス 第12回 言語教育とコーパス 第13回 言語教育と機械翻訳 第14回 英語教育と第二言語習得論 第15回 英語教育における語彙指導 第16回 英語教育における文法指導 第17回 英語教育における4技能の指導 第18回 英語教育における評価（テストング） 第19回 英語教育におけるエビデンス 第20回 第11回～第20回のまとめと最終レポート
履修条件	
成績評価方法	第1回～第10回：毎回のミニレポート(70%)と中間レポート(30%) 第11回～第20回：毎回のミニレポート(50%)と最終レポート(50%) これらの合計点に基づき、A+～Cの評点を行う。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	毎回ミニレポートを課題として課すので、期日までに提出すること。
教材・参考文献・配付資料等	ピーター・ジョンストン(2018)『言葉を選ぶ、授業が変わる!』ミネルヴァ書房 その他、授業中に適宜指示する
オフィスアワー等（連	長田 友紀 OH:水3限

絡先含む)	人間系棟B424 osada.yuki.gm at u.tsukuba.ac.jp 名畑目 真吾 人間系学系棟B426 nahatame at human.tsukuba.ac.jp
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	オンライン(オンデマンド型)と対面を併用して実施する。manabaで資料の配付などを毎回おこなうので必ず確認すること。また毎回のレポート回収もすべてmanabaでおこなう。レポートの提出状況及び内容に基づいて成績評価を行う。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	言語教育, 母語教育, 英語教育, 第二言語教育